



平成18年5月16日
日本原子力発電株式会社

平成18年度東海発電所、東海第二発電所の事業計画概要について

当社、東海発電所、東海第二発電所の平成18年度の事業計画概要について、別紙の通りお知らせ致します。

(別紙)

平成18年度東海発電所、東海第二発電所の事業計画概要

以上

平成18年度東海発電所、東海第二発電所の事業計画概要

発電所の事業計画において、「安全確保」は最も基本的な、そして最も重視しなければならないことであり、社員ひとり一人が「安全」について深く考え、あらゆる局面において、「安全」を第一の判断基準として事業活動を遂行します。また、社会からの信頼を得られるよう、発電所の安全運転はもとより、社会性を重視した事業運営を遂行していく所存です。

1. 運転計画

平成18年度の東海第二発電所の運転計画は以下の通りです。

○発電電力量：約84.2億キロワット時（設備利用率：約87%）

○定期検査（第22回）：平成18年11月下旬より約1ヶ月

2. 主な工事等

(1) 東海発電所

・廃止措置【継続】（添付資料－1参照）

○原子炉領域については、引き続き撤去工事は行わず隔離保管状態（安全貯蔵）を行います。

○現在、法律に基づく廃止措置計画の認可申請、及び安全協定に基づく廃止措置計画の同意申請を行っており、同意等が得られた後、熱交換器等の撤去工事に着手するとともに、燃料取扱建屋領域機器・燃料取替機等の撤去工事を再開する計画です。

○これまでの撤去工事で発生した「放射性物質として扱う必要のないもの（クリアランス物）」については、国による測定及び評価方法の認可、確認を得るとともに、発電所外に搬出できるよう準備を進めます。

○放射性物質濃度の極めて低い廃棄物（レベル3廃棄物）の敷地内埋設の適用性を確認するため、地質及び地下水流動状況を詳細に把握する本格調査を平成17年度に引き続き実施します。

(2) 東海第二発電所

・使用済燃料貯蔵設備の増強工事【継続】（添付資料－2参照）

○乾式貯蔵容器による使用済燃料貯蔵設備の増強工事については、貯蔵容器24基中15基の製造が完了し、順次使用済燃料の貯蔵を行っております。

○今年度は、第三期工事分として残り9基中6基の貯蔵容器の製造を継続します。

- ・第6給水加熱器保管庫の設置工事【新規】 (添付資料-3参照)
○第24回(平成21年度)定期検査で取替える予定の第6給水加熱器の保管施設を設置するための許認可等の手続きを行う予定です。

(3) 東海発電所、東海第二発電所

- ・放射性固体廃棄物処理設備の設置工事【継続】 (添付資料-4参照)
○放射性固体廃棄物埋設処分の推進に向け、雑固体減容処理設備及びセメント混練固化装置の設置工事を平成15年11月に着手しました。
○雑固体減容処理設備については昨年度末に完成し運用を開始しており、今年度は製造した低レベル放射性廃棄物を六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターへ搬出する計画です。
○平成17年度に一部運用を開始したセメント混練固化装置については、現在若干の改善策を実施しており、平成19年度に運用を再開する予定です。

3. 燃料等輸送計画

(1) 新燃料

東海第二発電所用新燃料

- ・輸送体数 : 計 148体
- ・輸送容器の種類 : A型核分裂性輸送物
- ・搬出元(事業者名) : (株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン
: 原子燃料工業(株)
- ・輸送期間及び回数 : 第1四半期(3回)
(注)輸送体数、時期は変更されることがあります。

(2) 使用済燃料

東海第二発電所使用済燃料

- ・輸送体数 : 計 96体(約17トンU)
- ・輸送容器型式(容器数) : NFT-32B型(3基)
- ・搬出先(事業者名) : 日本原燃(株)
- ・輸送期間及び回数 : 第1四半期(1回)
(注)輸送体数、時期は変更されることがあります。

(3) 低レベル放射性固体廃棄物輸送計画

- ・輸送体数 : 計 264体
- ・輸送容器型式(容器数) : LLW-1型(44個)
- ・搬出先(事業者名) : 日本原燃(株)

・輸送期間及び回数 : 平成19年2月(1回)

(注) 輸送体数、時期は変更されることがあります。

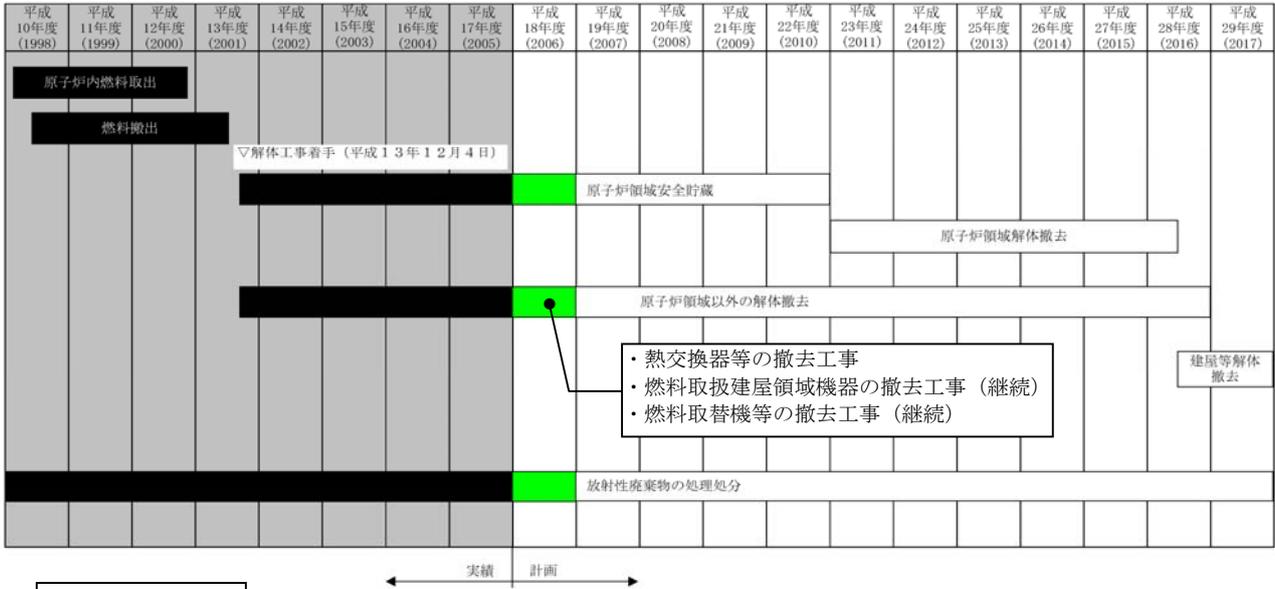
4. 添付資料

- (1) 東海発電所廃止措置
- (2) 東海第二発電所 使用済燃料乾式貯蔵設備
- (3) 第6給水加熱器取替えに伴う保管施設の設置
- (4) 放射性固体廃棄物処理設備の設置工事

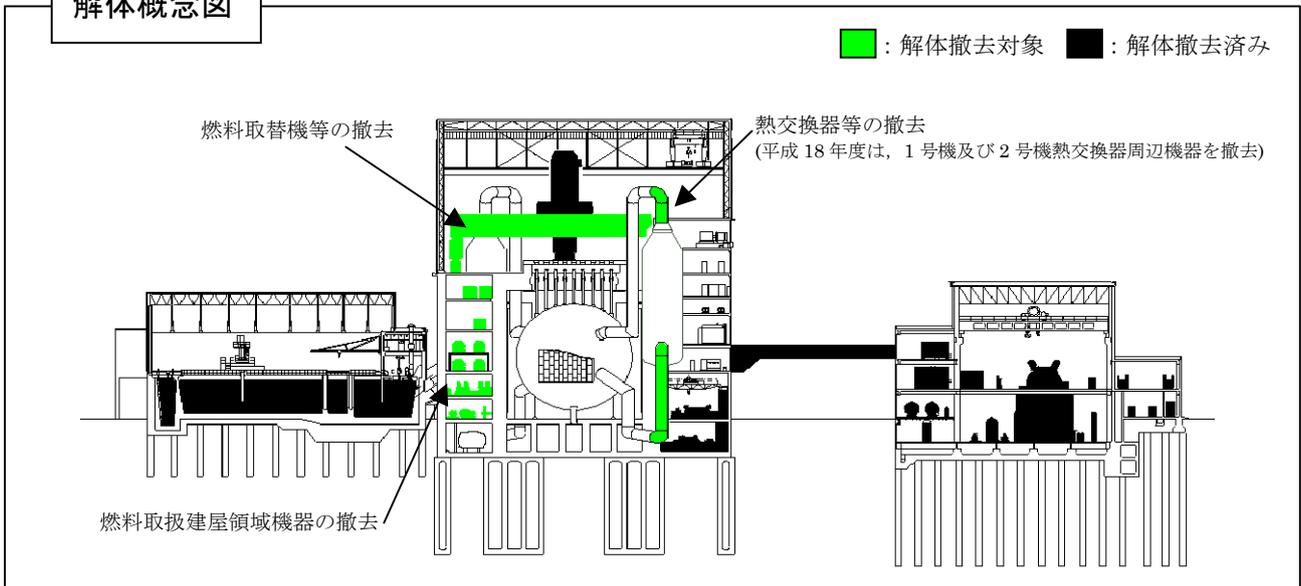
以 上

添付資料－１：東海発電所廃止措置

廃止措置工程



解体概念図



レベル3廃棄物の埋設に関する調査

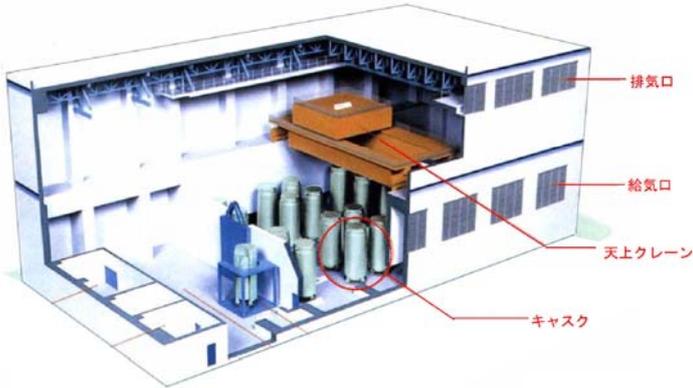
項目 \ 年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
調査	予備調査	本格調査		

● 調査観測孔 (調査状況に応じて変更の可能性有り)



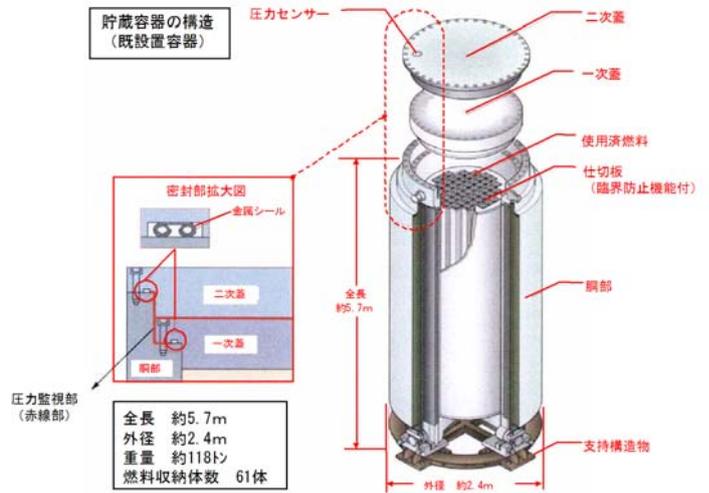
添付資料－２：東海第二発電所 使用済燃料乾式貯蔵設備

貯蔵設備の概要



貯蔵容量：貯蔵容器 24基
(ウラン重量約260 t)
建屋設置場所：東海発電所屋外開閉所南側
建屋概要：貯蔵容器24基收容
構造：鉄筋コンクリート造

貯蔵容器の構造
(既設置容器)

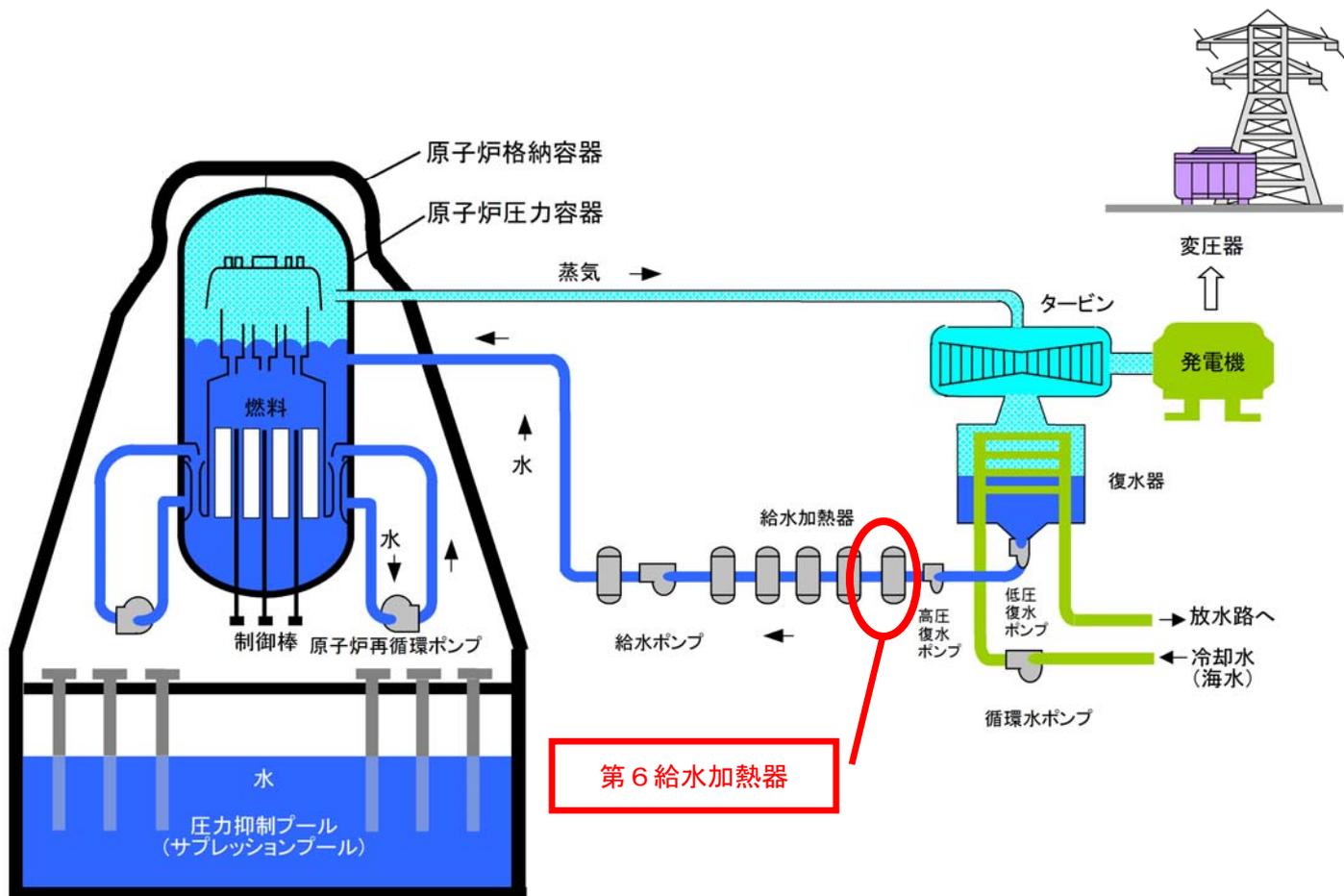


使用済燃料乾式貯蔵設備建設スケジュール

平成11年度 (1999年度)	平成12年度 (2000年度)	平成13年度 (2001年度)	平成14年度 (2002年度)	平成15年度 (2003年度)	平成16年度 (2004年度)	平成17年度 (2005年度)	平成18年度 (2006年度)	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)
第一期工事(注) 9/27着工		7/17竣工	第二期工事(注) 6/18着工		1/28竣工	第三期工事(注) 6月着工		6月竣工	第四期工事(注) 12月着工 12月竣工	

(注) 第一期工事：貯蔵建屋建設と貯蔵容器7基の設置
第二期工事：貯蔵容器8基の設置
第三期工事：貯蔵容器6基の設置を予定
第四期工事：貯蔵容器3基の設置を予定

添付資料－ 3 : 第 6 給水加熱器取替えに伴う保管施設の設置



<p>< 保管施設設置工程 ></p>	
○ 新增設等計画書申請	平成 18 年秋頃 (予定)
○ 第 6 給水加熱器保管施設の設置	平成 20 年度
○ 第 6 給水加熱器交換時期	平成 21 年度 第 24 回定期検査時
<p>* 設置場所および保管施設の仕様については、現在検討中。</p>	

添付資料-4:放射性固体廃棄物処理設備の設置工事

